

明るい輪

第62号 平成31年4月

発行

一般社団法人
全国ママさんバレーボール連盟

〒611-0824 奈良市西大寺南町1番19-201号
TEL 0742-47-7090 FAX0742-47-7099

「令和」におもむくこと



一般社団法人
全国ママさんバレーボール連盟

代表理事・会長 中西 壽子

★時代とともに★

平成30年度の事業はすべてを終えました。

新元号「令和」の前に立ち、平成に歩んできたママさんバレーを顧みると、幾つもの山を乗り越えてきたように思います。

私たちは、そこに何を残せたのか、尽きない思索の向こうには、多くのひとたちの温かい支えがありました。「ママさん」を超え「バレー」を超えた、はてしない可能性を必死で追っかけて、平成が去っていったような気がいたします。

けれど、今またふと隣を見ると、そこには変わらぬ笑顔で頷いている人たちがいてくれることに改めて感謝申し上げます。時代とともに成長する私たち、「令和」のママさんバレーも、まだまだ発展いたします。よろしくお願いいたします。

★あたらしい出会い★

令和元年度も5つの大会と審判研修会、そして誰もが個人で参加できる「ま〜みんフェスタ」という6つ目の大会を繰り広げます。

どれもこれも楽しみに出番を待つ人たち。チームたちです。大会は次々と目の回るスピードで準備がすすみ、開催県は胸ふくらませてその日を迎えます。皆様もどうぞ、あたらしい希望と期待の夢をかなえられる仲間と出会える会場へと、元氣にお集まりください。

祝 辞



会津若松市長

室井 照平

平成30年9月30日、10月1日、「2018 Volleyball ま〜みんフェスタ Vol.1」が福島県会津を会場に開催されました。全国ママさんバレーボール連盟の皆様をはじめ県内外から多くの皆様にご参加をいただき、心から感謝を申し上げます。磐梯山、猪苗代湖に代表される豊かな自然、鶴ヶ城や飯盛山をはじめとした奥深い歴史や伝統、そして食文化など「極上の会津」に大いに触れていただけたでしょうか。

「ママさんバレー」をこよなく愛する皆様一堂に会し、ボールの動きに合わせ、お互いに声を掛け合い、心を一つにしてはつらつとプレーする姿は、会場全体を元気にし、そして大きな感動を与えるものです。ボール一つで、誰もが気軽に楽しむことができる「ママさんバレー」は、日常生活に活力や潤いをもたらすし、心を豊かにしてくれるものであり、何より健康の保持増進に大きな効果をもたらす代表的な生涯スポーツ種目でもあります。

今後とも、「ま〜みんフェスタ」などを通して、全国の多くの方々に「ママさんバレー」の楽しさを知っていただき、明るく大きな交流の輪がさらに広がって行くことをご期待申し上げます。

平成31年、「全国ママさんバレーボール大会」が記念すべき第50回を迎えられると伺っております。全国ママさんバレーボール連盟の皆様のご長きにわたるご尽力に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。



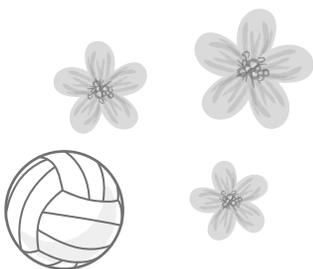
大会名誉総裁 高円宮妃久子殿下
全国ママさんバレーボール大会



「妃殿下もご一緒に」
第49回全国ママさんバレーボール大会交歓会



さあ、「ま〜みんフェスタ」のはじまりです。



第49回 全国ママさんバレーボール大会

大会を飾る

高円宮妃久子殿下のご臨席を賜り、平成と元号のつく最後の「第49回全国ママさんバレーボール大会」を開催することが出来ました。

役員一同緊張の中開会式が始まりました。地元中学生プラスバンド部員の演奏により各チームの趣向を凝らした行進を楽しむことができました。

交歓会では先の中学生たちによるドリル演奏や地元高校生による中国獅子と龍の舞いを披露してもらったところ、選手はもちろんのこと、妃殿下におかれましても大変お楽しみいただけました。又、各都道府県のたくさんの方の役員の皆様からも、交歓会に対してお褒めの言葉を頂きうれしく思いました。

この大会を開催するにあたり、兵庫に来てくださる皆様にとのようなおもてなしをすれば喜んでいただけられるか、役員一同知恵を出し合い準備しました。そして、皆様の笑顔からパワーをいただきながら頑張ることが出来ました。

全国連盟の役員皆様のご指導のもと、このように大きな大会運営に携われた経験を次に繋ぎ、連盟の発展に役立てていきたいと思えます。

最後になりましたが、ご指導ご鞭撻、またご協力いただきました皆様には厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

兵庫県ママさんバレーボール連盟



交歓会 ドリル演奏整然と



目線の先は？



特別表彰「松平康隆杯」授与



地元高校生による中国の龍の舞い



獅子舞 こわいよう～ママ



声をかぎりに応援「行け行け〇〇子 もう一本」



声をかぎりに応援「やったあ～！ いいぞ～！」



第3回 全国ママさんバレーボール おふく大会

おふくと「なまはげ」

「おふく」何と柔らかな言葉だろうか。70歳過ぎてても仲間と楽しめる環境であることは、生涯スポーツの原点だと思います。全国各地から参加いただいた大会は、秋田県で初めての全国大会開催となりました。

笑顔と真心でお迎えすることを地元役員で誓い、精一杯取り組ませていただきました。

体育館での開会式・交歓会でしたが、チーム紹介のコメントは凛としてバレーボールを楽しんでいる様子が伝わりました。また交歓会では世界文化遺産に登録された「なまはげ」そして「なまはげ太鼓」の迫力を堪能し、全員で



「なまはげ」からパワーをもらってがんばるわ



年季の入ったプレイを發揮することを誓います



しなやかに さわやかに 心一つに



戦い終わって



大会を盛り上げたゆるキャラ達



より速く より強く よりうまく！ ナイスレシーブ!!

踊った秋田県民謡「ドンパン節」は楽しんでいただけたと思います。交流試合での元気なプレーには驚きと感動でいっぱいでした。選手の皆様笑顔で「楽しかった。ありがとう」の言葉が心に沁みました。緊張の中にも喜びと反省はありましたが、心一つに目標に向かえば進歩に繋がることを確信出来ました。中西会長をはじめ全国連盟役員のご指導で楽しく大会を終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

秋田県ママさんバレーボール連盟 会長 藤田 昭子

Volleyball 2018 ま〜みん Festa

第1回ま〜みんフェスタ

参加者からの声・声・声

○体育館「カメリーナ」のロケーション
紅葉にはチョッと早いけど、磐梯高原は広々として爽やかな空気に包まれて。新しいイベントにふさわしい環境で、私達を迎えてくれました。

○チームづくり
全国あちこちから参集したバレー好き達は、ドキドキわくわくしながら、2日間を一緒に過ごす仲間と出会いました。ま〜みんのように、心も身体もピョンピョン飛び跳ねて楽しもう！という思いがあらわれています。出来上がった12のチームをご紹介します。

○試合
交歓会で相談がうまくまとまって、開始式のチーム自己紹介もバッチリ！試合運びも、それはそれは呼吸ピッタリのチームワークで



全員集合!! がんばろう!!



全国一円から集まる仲間を待ちます 白虎隊



初めてのメンバーと心を合わせて、ボールを追いましょう!



開会式 チーム自己紹介 さざえ堂チーム



開会式 チーム自己紹介 八重の櫻チーム

ユニークなチーム名	あかべこ	ねぎそば	宝の山	白虎隊
	ソースカツ丼	八重の櫻	さすけねえ	ハイカラさん
	さざえ堂	小原庄助	はくちょう	わっぱめし

「私にもできるかな?」
「ママさんバレーやってみよう!」
「ひとりで行っても試合ができる!」
「家族と一緒にバレーがしたい」
そんな願いを叶えます!

「ママさんバレー」の楽しさを知ってもらうために、バレーボールフェスティバルを開催します! お気軽にご参加ください! 老若男女問わず、仲良く一緒にバレー・観光・グルメを楽しみましょう!
= お誘いパンフレットより =

つぎは岐阜で!

2019年
9月15日(日)
16日(月・祝)



ゆっくりして
いくといいゲロ★

第8回全国ママさんバレーボール冬季大会



飛べ 飛べ 大きく 腕ふり体操



入場行進 私もチームの一員です



くんまちゃんも入場します



飛んでブロック!



応援の力で“勝ち”に行こう



交歓会 恒例の玉入れ

全国各地より福島の地に集まった選手団。小さなお子さんをおんぶしたり抱っこしたりのお父さんやジジ・ババ。満面の笑みでさつそうと体育館に入ってきたママさん。
それを見て思い起こすのは昨年の第7回冬季大会。それは、監督として参加した私がチームとともに味わった、喜び悲しみありの最高の4日間のことでした。
今年、競技委員長という立場でかわらせていただきました。

選手たちの胸に一生の思い出と感動が残せるように。また、全チームが最高のパフォーマンスを発揮できるように。と、プレーヤーファーストの精神で心を配りました。
特に「運命の抽選会」。まるで会場の空気の流れが一瞬止まったかのような雰囲気!
一昨年チーム関係者として感じた反省を生かし、私にとっては貴重な体験をさせていただきました。
大会競技委員長 小澤 雅代

♪友よ〜この先もずっと〜♪

連盟だより

北から南から

★団結を★

福井県は「福井しあわせ元気国体」と銘打って皆さんの協力を頂きながら大盛況のもと、天皇杯・皇后杯を獲得し、無事に国民体育大会・障害者スポーツ大会を終了致しました。ママさん連盟もチームふくいの一員として、審判はもちろん総務等ボランティアとして情熱を注ぎ、随所でママさんならではの気配りやおもてなしをして笑顔を持って活躍する事が出来ました。

また、スポーツ少年団との交流会をママさん連盟企画として開催し、小学生の瞳を輝かす事も出来ました。

「ママの元気は福井の元気」と「心に花」をモットーに、いつか

はママさん全国大会を開催し、元気で気配りの出来る、心豊かなママさんの姿を見て頂けるよう福井県ママさん連盟は邁進して行く所存です。

福井県ママさんバレーボール連盟

『ぎばつてます 京おんな』

四季折々の景観、寺院散策に世界各国からも多くの方々を訪れる観光都市京都。

京都は、全国いそじ大会と全国ことぶき大会を開催しました。ことぶき大会開会式では、舞妓さんの華麗な舞いを披露し選手の皆さんに、ほっこりするひと時を楽しんで頂きました。役員総動員でやりとげた全国大会の経験が強い絆

となり現在に繋がっています。昭和51年の設立時から開催している秋季リーグ戦が今年43回を迎えます。全登録チームが参加するクラス別グループ戦から始まり、決定戦、決勝トーナメント戦と進みます。クラスは、A・B・Cの5段階に分かれ、各クラス16チームが4組に分かれグループ戦を行います。組1位は翌年上クラスに、4位は下クラスに下がります。組グループ戦は、1日に3試合と2試合の審判、選手はフル活動です。同レベルチームの試合は、長いラリーも多く一喜一憂、生き生きプレーが続きます。組優勝は表彰され、やりきった感と、優勝の感激に涙する選手もいます。全国大会予選会では上位クラスとの対戦で勝ち残れないチームも沢山あります。この大会の「組優勝」を目指し、今後もぎばつていきます。

京都府ママさんバレーボール連盟

設立昭和50年4月1日。諸先輩方々の御尽力により、近く45周年を迎えようとしています。時代の流れと共にチーム数も減っている、そんな状況で今の自分達に出来ることは何か？を考え佐賀県ママさん連盟では、(1)若手役員の育成、(2)審判員の育成を行なうことを目標にしています。

(1)連盟役員も昨年より今年！と審判講習会の内容を工夫し、わかりやすく指導できるように奮闘中です。また、各大会終了後、反省会を行い次回に向け新たなチャレンジに取り組み生涯スポーツとしてママさんバレーの楽しさを伝えていきたいと思っています。

(2)「審判技術のレベルアップ」の為に各チームから審判員を2名ずつ推薦してもらい育成に取り組みんでいます。

役員一同、人と技術を育て、笑顔と思いを忘れず連盟の更なる発展に力を尽くしていきます。

佐賀県ママさんバレーボール連盟

チャレンジ

一平ちゃん

米田一平さんありがとう



第7回冬季大会で元気な米田一平さん

「ゼビオの米田さん」から「一平ちゃん」と気安くお呼びするようになったのは一年とかからない短期間のことでした。それから昨年ことぶき大会までの5年間、「ママさんバレーは、出会ったことのない分野で、一つ一つに新鮮な魅力を感じます。大変勉強になります」と笑顔で話していた一平ちゃん。大変お世話になりました。

ありがとうございます。合掌



2019年度事業開催予定

- 1. 2019年度 全国連盟審判研修会**
開催期日 2019年4月16日(火)~17日(水)
開催地 奈良県
- 2. 2019年度 全国ママさんバレーボール連盟評議員会**
開催期日 2019年5月8日(水)
開催地 奈良県
- 3. 第50回 記念全国ママさんバレーボール大会**
開催期日 2019年8月1日(木)~4日(日)
開催地 奈良県
- 4. 第2回 Volleyball 2019 ま〜みんなFesta Vol.2**
開催期日 2019年9月15日(日)~16日(月)
開催地 岐阜県
- 5. 第4回 全国ママさんバレーボールおふく大会**
開催期日 2019年10月5日(土)~7日(月)
開催地 高知県
- 6. 第24回 全国家庭婦人バレーボールことぶき大会**
開催期日 2019年11月6日(水)~8日(金)
開催地 三重県
- 7. 第9回 全国ママさんバレーボール冬季大会**
開催期日 2019年12月6日(金)~9日(月)
開催地 沖縄県
- 8. 第31回 全国家庭婦人バレーボールいそじ大会**
開催期日 2020年3月5日(木)~7日(土)
会場 石川県

編集後記

春が訪れ、真新しい制服やスーツ姿が街に行き交っています。元号も平成から令和へと。時代をつなぐ節目の年を迎えました。第62号発行に際し、原稿をお寄せいただきました皆様心より感謝申し上げます。「明るい輪」が、連盟と会員の皆様をつなぎ、時には情報発信の場、時には情報交換の場となる等多様な活動の場となりますように願っています。

写真提供 (株)プロフォトサニー (広報担当)

見てね!!

Hi-touch

2号

全国大会レポート記事を掲載しております。

ご協力ありがとうございました!!

このたびは西日本豪雨災害で被災された方々への救援金をお寄せいただき、ありがとうございました。

皆様から寄せられた救援金は、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団に一旦預けられ、そこから日本赤十字社を通じて救援活動に役立てます。

金額 8,252,354円